

2023年度の事業計画について

1 概要

「第二期愛知県図書館の基本的な運営方針（2023-2027）」の初年度となる2023年度は、同方針の施策体系に基づき、別表の87事業を実施する。

・Webサイトの利便性を向上させるため、Webサイト上で簡易な問合せに対応できるチャットボットを導入（新規）

始め8事業

2 主な事業内容

① 「すべての県民の「知りたい」に応える図書館」に向けた取組

- ・市町村立図書館等へ年間16,000冊以上の資料を協力貸出
- ・障害を持つ方への郵送貸出サービスを充実（新規）
- ・県図書館を応援していただく取組（あいちBookサポーター、雑誌スポンサー制度（新規））を活用した資料の充実

始め32事業

② 「情報発信・交流活動の拠点としての図書館」に向けた取組

- ・1階エントランス Yotteko（ヨッテコ）等で企画展示や講演会を開催し、県政の情報発信と所蔵資料の一層の利活用を促進
- ・話し合いができるグループ学習席など、人が集まり交流する明るい空間を提供
- ・新たに制定された「あいち県民の日」（11/27）に関連する展示やイベントを実施（新規）
- ・SNS（Facebook、Twitter、YouTube）による情報発信を充実

始め13事業

③ 「ネットワークのハブとなる図書館」に向けた取組

- ・県内図書館等の蔵書横断検索システム「愛蔵くん」等を提供するとともに、県内市町村立図書館との資料搬送定期便を運行
- ・愛知図書館協会等のネットワークを活用し、県内図書館職員へ時宜に適した内容の研修を実施
- ・課題解決学習を始めとした探究活動や修学旅行等の事前学習の際に幅広く活用していただけるよう、テーマごとの学校貸出用セットを用意し、県立学校等へ貸出し（新規）

始め22事業

④ 「デジタル技術の活用により新たな社会に対応する図書館」に向けた取組

- ・電子書籍のコンテンツの充実を図るとともに、利用者拡大に向けた効果的なPRの方策を検討・実施
- ・Webサイト「愛知県関係地域資料ポータル」や「貴重和本デジタルライブラリー」等を充実
- ・県・市町村が発行したボーンデジタル資料（※）を収集・保存し、Webサイトで閲覧できる仕組みを試行（新規）

（※）ボーンデジタル資料：紙媒体ではなくデジタルのみで発行、公開される資料。

⑤ 「持続可能なサービス環境を備えた図書館」に向けた取組

- ・司書職員としての専門性をより高め、サービスの提供に必要な最新の情報を提供する研修の受講を促進
- ・県図書館と市町村立図書館職員との人事交流を試行実施（新規）

始め12事業

3 数値目標

第二期基本的運営方針で設定した以下の9項目の数値目標に向けて取り組む。

目指すべき姿	目標	備考
1 すべての県民の「知りたい」に応える図書館	● 蔵書検索アクセス数 2,100,000回	
	● 利用者の満足度 来館者アンケートでの「来館の目的が達成できた」が現状（2021年度：85.6%）を上回る	
2 情報発信・交流活動の拠点としての図書館	● SNSの発信数と閲覧数 ・発信数 1,000件 ・閲覧数 900,000件	
	● 企画展示・イベントの実施回数 ・展示 50回 ・イベント 70回	
3 ネットワークのハブとなる図書館	● 県内図書館等への協力貸出冊数 16,000冊以上	
	● 市町村立図書館経由で貸出を利用する学校数 22校から24校以上に拡大	第二期基本的運営方針の目標：2027年度までに35校
4 デジタル技術の活用により新たな社会に対応する図書館	● 電子書籍へのアクセス件数 現状（2022年度上半期：5,541件）を上回る	
	● デジタルアーカイブ公開数 1,131タイトルから1,140タイトル以上に拡大	第二期基本的運営方針の目標：2027年度までに1,140タイトル
5 持続可能なサービス環境を備えた図書館	● 職員研修の受講者数 延べ500人以上	